

公表	事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）
----	--------------------------

○事業所名	うんどう☆ことばの教室		
○保護者評価実施期間	2024年 6月 1日 ～ 2025年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2024年 6月 1日 ～ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○訪問先施設評価実施期間	2024年 6月 1日 ～ 2025年 1月 31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10訪問先	(回答数) 5訪問先
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先での困りごとを児童発達支援での療育にて、直ぐに対応することが出来る。	訪問先での日中や生活での困りごとや、良い点などを細かく聞くようにしている。	訪問した際だけではなく、定期的に訪問先へ、連絡し聞き取りをするようにする。
2	専門職を配置し支援に当たらせている。	運動発達、言葉の発達の段階を、より具体的に伝えるようにしている。	生活年齢と発達年齢の差をどのように対応して行くかを、書面で伝えるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が不足している。	訪問支援に携わることが出来る支援員に求められているものは、資格だけでは足りない。保育や療育に関わってきた経験やスキルが必要と考え、現在の職員を訪問支援員として訪問させるのは難しい。	社内教育、社外教育を強力に進め、出来るだけ速やかに訪問支援員を育てるように図っていく。
2			